

# 【これからの地球のために】

福岡県

春日市立春日野中学校

三年

亀崎

さくら

皆さんは、「水」に対してどんなイメージをもっていますか。私は、「水」と聞くと、神秘的でたくさん自然の中に囲まれている川や海などを連想します。また、「水」は私達の身近にあり、蛇口をひねると、飲むことができるきれいな水が当たり前に出てきます。

私は、小学五年生のときに、関西に旅行に行きました。その際に訪れた日本最大の湖、琵琶湖のテラスから見た絶景を今も鮮明に覚えています。テラスに行くまでに乗るロープウェイで冷たい風に揺られて、日本最大の湖を見下ろし、湖に反射した光を浴びて日本の大自然を全身で感じられることによくの感動を覚えました。初めて感じた感覚に感動するとともに、自然のもつ力の大きさを知る機会にもなりました。その旅行を経て、琵琶湖に住む生き物や、琵琶湖がどのように利用されているのかを調べて見ました。その中で琵琶湖にしかない希少種や独自の環境で進化した固有種、日本古来の在来種などが生息していることがわかりました。

また、琵琶湖の水は近畿圏の多くの住民の生活を支え、現在では約一四〇〇万人の元へと琵琶湖の水が届いているそうです。生活用水だけでなく、農業用水、工業用水にも使われ経済発展にも大きく貢献しています。私は、このことを知り、更に興味を持ちました。琵琶湖は、私のように多くの人々に感動をもたらすだけでなく、人々の生活にまでも欠かせないものになり、沢山の人の命の一部になっていることがわかったからです。

しかし、今、私達が住むこの地球という星では、水不足によって多くの人が苦しんでいる現状があります。のどが渴いて、汚染されているとわかっていて水をしようがなく飲むことも多いそうです。私達が住む日本では、すぐきれいな水を手に入れることができますが、当たり前のことではありませぬ。大切な地球の資源であることを忘れずに水を使う必要があると思いまし

た。

私は、この現状を知って、一人一人にできることを考えました。まずは、水のありがたさを伝え、水不足で苦しんでいる人が沢山いる現状を広く認識してもらうことです。また、「SDGs」でも掲げられている気候変動も水不足の原因の一つです。世界でも注目されている問題だからこそ、関心をもっておく必要があると思いました。正しい知識を踏まえた上で、節水を心がけたり生活用水の汚れをできるだけ無くしたりするなど、日常的にできることに取り組みたいです。

私は、水について関心を持つきっかけになった琵琶湖に出会えたことに多くの喜びを感じています。水は人と深く関わっており、水資源に恵まれている日本に住む一人として、世界に目を向けたいと思いました。私に感動をもたらしてくれたように、沢山の人の心を動かすことができる水がきれいで安心な水として、これからの地球に残っていくように小さな積み重ねを大切にしていきたいです。